

合い言葉は

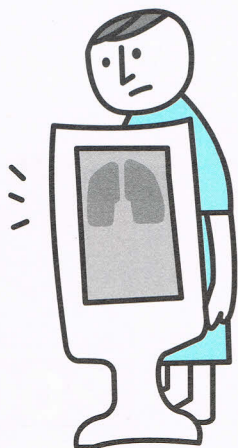
福は内

鬼は外

主な内容

- | | |
|--------------------------|-----|
| ●国保・健康だより | 2～5 |
| ●引っ越しの時の各種届出 | 6 |
| ●第12回町民フォトコンテスト 入賞作品決まる | 8～9 |
| ●第56回成人式 | 10 |
| ●春の火災予防運動 一火の元に注意しましょう | 13 |
| ●合併50周年記念「NHK歴史探訪セミナー」案内 | 18 |

1月29日、一足早い節分会が児童館で実施され、鬼を追い払う元気な声が聞かれました。(関連記事7頁)



国民健康保険人間ドッグ・脳ドッグ 検診費用助成金申請書の受付について

- 【一斉受付会場】 壬生町保健福祉センター
- 【一斉受付日時】 平成17年4月7日(木) 午前7時30分から整理券を配布します。
午前8時30分より受付を開始します。
- ※4月8日以降は、役場保健課で受付をいたします。
- 【持参するもの】 ①壬生町国民健康保険証
②印鑑（認印）

●助成対象者（次の①～③のすべての項目に該当する方が対象となります。）

①ドッグ検診時に壬生町国民健康保険の被保険者である方（一般、退職者医療制度の別を問いません。扶養されている方も対象になります。）

※会社員の健康保険、公務員の共済組合等に参加している方は、壬生町国民健康保険の世帯主であっても、擬制世帯主（保険証の世帯主欄に「擬制」と記載）である方も別の保険に参加している方でありますので対象になりません。

②ドッグ検診時に35歳以上70歳未満の方（ドッグ検診時に老人保健法の適用を受けている方は対象となりません。）

③壬生町国民健康保険税を完納している世帯に属する方

●検診医療機関及び検診日程、検診に係る助成金額については、受付当日に会場においてお知らせいたします。また、助成申請書類は会場に備え付けておきますので、当日、会場にて記入いただくこととなります。（従来、対象者のいる世帯あてに申請書類等を送付しておりましたが、事務費削減のため、ご案内の通知、申請書類は送付しないこととなりました。）

遠隔地被保険者証（マル学マル遠）をお持ちの方へ

修学等の理由で単独の遠隔地被保険者証をお持ちになっている方で、学校を卒業されると、マル学を喪失することとなります。在学の事実が無くなった場合は、資格喪失の手続きをしていただく必要があります。

- 卒業の場合；卒業証書の写し（または、学校から発行される証明書等）
印鑑（認印）

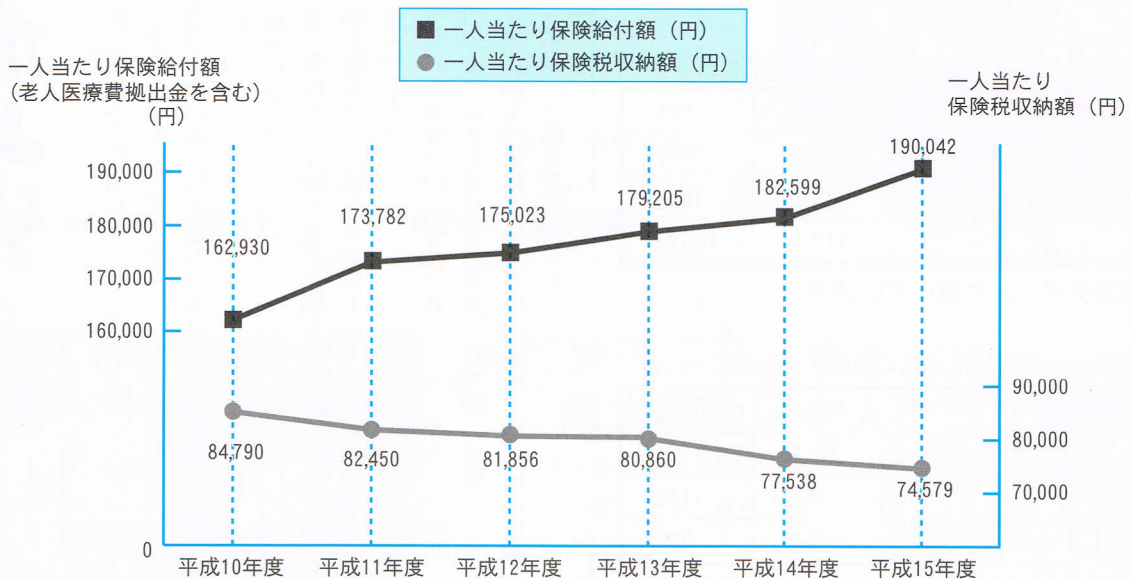
マル遠の被保険者証は、住所の異動は伴わず、長期にわたりその住所を離れる（長期出張や旅行等）ため、個別の被保険者証が必要な場合に届出に基づき、期間を設けて交付しているものです。申し出の有効期間が経過したときには、改めて交付申請をする必要があります。お手元にある被保険者証の有効期限が経過している場合は、被保険者証の返還をしていただくこととなります。

「マル学」の場合 見本

国民健康保険被保険者証			
有効期限	平成 年 月 日		
記号	み	番号	
世帯主	住所 ほ		
氏名	学 性別		
※	ん		
保並名 険に称 者保及 番者 者の印	090654 栃木県下都賀郡壬生町 通町12番22号 壬 生 町 TEL 0282 (81) 1836	栃木県 壬生町 之 印	一部負担金の割合 3割
交付年月日	平成 年 月 日		

国保だより

一人当たり保険給付額と保険税収納額の推移（介護分は除く）



医療費を大切にしましょう

保険税は、加入者のみなさんが病気やけがをしたときの医療費にあてられます。医療費が増えると必然的に、給付の費用を補うために保険税を引き上げなければなりません。

日頃から、健康づくりを心がけ、お医者さんのかかり方も見直して医療費を節約しましょう。

医療費が増えている理由

人口の増加や物価の上昇も一因ですが、他にも次のような理由が考えられます。

1 お医者さんのかかり方

お医者さんをかけもちしたり、お医者さんの指示を守らなかったりなど、医療費がかさむお医者さんのかかり方をしている人がいます。

2 人口構造の高齢化

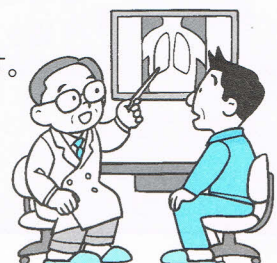
高齢社会で病気になりがちな高齢者の人口が増えています。

3 生活習慣病などの慢性疾患患者の増加

長期療養を必要とする生活習慣病などの慢性疾患患者が増えています。

4 医学・医療技術の進歩によるもの

新しい機器や薬などが開発され、治療にかかる費用も増えています。



春とはまだ名ばかりの寒さが続いています。春の

受験生を持つお母さん方には、あわただしい時期です。

健康管理に注意し、特に風邪をひかないように栄養バランスにも気を

つけたいものです。

今回は、『食』について考えてみましょう。

飽食の時代といわれている今日、摂取エネルギー量の過剰や食生活の乱れ、栄養バランスの偏りなどで子どもの生活習慣病や食を介したコミュニケーションの喪失が個人や社会にいろいろなしわ寄せを及ぼしはじめています。

特に、1日のスタートである朝食の欠食率が、小学校で6・1%、また、20歳代、30歳代の男性が高いことが、県民食生活調査に示されていますが、町では、健康づくり推進員と共催で、今度、小学生になる公立保育園及び幼稚園の年長児179名に「朝ごはんに関するアンケート調査」を行いましたので、結果の一部をご紹介します。

1. お子さんは朝ごはんを食べますか？

毎日食べる	165人	92%
週1～2回食べる	8人	4%
週3～4回食べる	3人	2%
食べない	3人	2%
計	179人	100%

※92%の子が朝食を食べていますが、毎日食べていない子が8%もいます。

2. お子さんは誰と朝ごはんを食べますか？

一人で食べる	15人	8%
家族と食べる	134人	76%
その他	28人	16%
計	177人	100%

※8%の子が一人で食べています。

3. お子さんが朝ごはんによく食べる主食は何ですか？

ご飯（米類）	115人	64%
パン（菓子パンを含む）	55人	31%
麺類	2人	1%
その他（コーンフレーク等）	5人	3%
食べない	2人	1%
計	179人	100%

※半数以上がご飯を主食としています。

4. 食卓で「いただきます」・「ごちそうさま」のあいさつはしますか？

お子さんは する	165人	93%
〃 しない	13人	7%
あなたは する	157人	88%
〃 しない	19人	11%

※食事のあいさつをしている家庭がほとんどですが、1割くらいの子どもと親はあいさつしていません。

5. お子さんは食事の時間に何か手伝いをしますか？

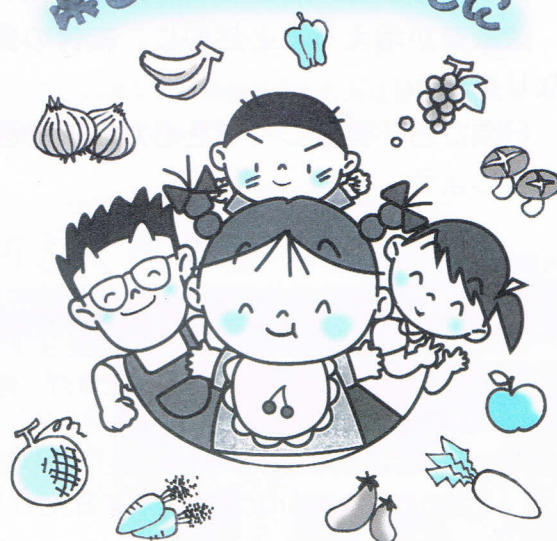
手伝いを する	141人	79%
〃 しない	37人	21%
計	178人	100%

※8割くらいの子が何かの手伝いをしています。

また、どんな手伝いをしますか？（複数回答）

食卓の準備	テーブルを拭く・料理を運ぶ・食器、食具を並べる・ごはんを盛る・飲み物を用意する・家族に食事を知らせる・鍋奉行を仕切る等	133人
料理を手伝う	サラダを作る・パンに添加物をぬる・野菜を切る・卵を割る等	10人
後かたづけ	食器を洗う等	54人

楽しく食べる子どもに



アンケート

結果から



アンケートの結果から、朝ごはんを食べない子が2%、毎日食べない子を含めると8%もいることがわかりました。主食としては、ごはんを主食にしている子が64%、パン食が31%でした。

下記の和食、洋食の例図をみてお分かりのように、和食の方が栄養バランスがとれやすく、アンケートでもごはん食の子の方が多種類の食品を摂取していました。パン食においては、菓子パンも含め食品が偏りがちなので、上手に組み合わせ食べてほしいものです。

また、誰と朝ごはんを食べるかの問いでは、一人で食べる子どもが15人で8%いました。家族員数との関係を見ると、大家族であるからみんな一緒に食べているとは限らないこともわかりました。

今、子どもを取り巻く環境で「孤食」「個食」「小食」「固食」等が問題になっていますが、この「こしょく」は、食の偏りや食べ過ぎやキレルなどにも大きく関わります。

食は、子どもの健やかな心と身体の発達に欠かせない大切なテーマです。家族の団らんのひとときにしてほしいと思います。食卓でのあいさつの問いでは、約1割の子とも親がしていません。感謝の気持ちを育てる機会です。

このアンケートで子どもたちが食事の手伝いに関わっている様子がわかり、とてもほほえましく思いました。子どもの食事作りやお手伝いは、生活技術を高めるばかりでなく、マナーや習慣を覚え、家族の「コミュニケーション」を図るよいチャンスです。

食べることは生きる基本です。生涯を通して健康で楽しく食べることができたら、どんなに素晴らしいことでしょう。このアンケートをもとに、それぞれみなさまの食生活の見直しのきっかけになれば幸いです。



PFC熱量比率 P : 22% F : 25% C : 52%

PFC熱量比率 P : 16% F : 53% C : 32%

(注) P : たんぱく質 F : 脂質 C : 炭水化物

文部科学省、厚生労働省、農林水産省において健康増進、生活の質の向上、及び食料の安定供給を図るため、以下のような「食生活指針」が示されました。

- 1 食事を楽しみましょう
 - ・心と身体にうれしい食事を、味わって食べましょう。
 - ・毎日の食事で、健康寿命を延ばしましょう。
 - ・家族の団らんや人との交流を大切に、また、食事づくりに参加しましょう。
- 2 一日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを
 - ・朝食で、いきいきした一日をはじめましょう。
 - ・夜食や間食はとりすぎないこと。
 - ・飲食はほどほどにしましょう。
- 3 主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを
 - ・多様な食品を組み合わせましょう。
 - ・調理方法が偏らないようにしましょう。
 - ・手作りや外食や加工食品を上手に組み合わせましょう。
- 4 ごはんなどの穀類をしっかり
 - ・野菜・果物、牛乳・乳製品、豆類、魚類なども組み合わせ
- 5 食塩や脂肪は控えめに
 - ・食塩は、一日10グラム未満にしましょう。
 - ・脂肪のとりすぎに気をつけましょう。
- 6 ビタミンAを含んだカボチャとたく
 - ・さんの根菜類の煮込みうどんは消化
 - ・が良く、夜食におすすめの一品です。



引越しの季節到来

いよいよ引越しの季節到来です。進学や就職、転勤などで、この時期、引越しを考えている方、転入や転出、転居等をされる場合は、必ず届け出をしてください。

● 転校するとき ●

● 町内の学校間での転校

住民課発行の「住民異動届」、転校前に在学していた学校の発行する「在学証明書」「教科書給与証明書」を持って手続きをしてください。

● 町外への転校

担任の先生を通じて学校長に申し出て、「在学証明書」「教科書給与証明書」「日本体育・学校健康センター」の加入に関する書類をもって、転校先の市町村教育委員会ですべての手続きをしてください。

● 町外からの転校

住民課発行の「住民異動届」と、転入前に在学していた学校が発行する「在学証明書」「教科書給与証明書」「日本体育・学校健康センター」の加入に関する書類を持って手続きをしてください。

手続き・問合せ先

教育委員会学校教育課学校教育係

☎ 81-1871

● 進学するとき ●

進学のため、他の市町村等に転出する場合、これらの学生の医療費は、扶養者などが負担することになります。このため、国民健康保険では、このような学生に、親元と別の被保険者証が交付されます。

必要なもの

国民健康保険証・在学証明証又は学生証の写し・印鑑

問合せ先

民生部保健課国民健康保険係

☎ 81-1836

手続き先

民生部住民課
☎ 81-1825
稲葉出張所
☎ 82-1002
南大飼出張所
☎ 86-0004

引越しをされる時の届出一覧表

種 類	内容と届け出期間	必 要 な も の
転 入 届	- 他の市町村から引越してきたとき - 住み始めてから14日以内	- 印鑑 - 前の市町村（前住所地）が発行した「転出証明書」 - 国民健康保険に加入していた方は、申し出てください（転入する世帯で国民健康保険に加入していれば、国民健康保険証） - 国民年金手帳（加入している方のみ） - 国民年金の受給者は住所変更届を社会保険事務所に提出してください（住民課に用紙があります） - 国民年金老齢福祉年金証書（受給している方のみ） - 母子健康手帳（該当している方のみ） - 介護保険受給資格証明書（該当している方のみ） - 身体障害者手帳・療育手帳（該当している方のみ） - 児童手当用所得証明書を持参して福祉課で手続きをしてください（該当している方のみ） - 妊娠婦、乳幼児医療受給資格者証を持っていた方は、申し出てください
転 居 届	- 壬生町内で引越したとき - 住み始めてから14日以内	- 印鑑 - 国民健康保険証（加入している方のみ） - 国民年金の受給者は住所変更届を社会保険事務所に提出してください（住民課に用紙があります） - 国民年金老齢福祉年金証書（受給している方のみ） - 老人医療受給者証・老人健康手帳、高齢受給者証（該当している方のみ） - 介護保険被保険者証（該当している方のみ） - 身体障害者手帳・療育手帳（該当している方のみ） - 支援費受給者証（該当している方のみ） - 住民基本台帳カード（所有している方のみ） - 各種医療受給者証（該当している方のみ）
転 出 届	- 壬生町から他の市町村に引越しするとき - 住み始めの日の前後14日以内	- 印鑑 - 印鑑登録証（登録している方のみ） - 国民健康保険証（加入している方のみ） - 老人医療受給者証・老人健康手帳、高齢受給者証（該当している方のみ） - 介護保険被保険者証（該当している方のみ） - 介護保険各種減額認定証（減額認定されている方） - 支援費受給者証（該当している方のみ） - 各種医療受給者証（該当している方のみ） - 住所地特例適用届（介護保険施設に入所している方） - 児童手当用所得証明書を交付請求してください（児童手当に該当している方のみ） - ナンバープレートと標識交付証明書（125cc以下の原動機付き自転車を所有している方） - 住民基本台帳カード（所有している方のみ）

各種届け出も忘れずに！

便利な広域行政サービス

町外でも「住民票の写し」・「戸籍謄抄本」の 交付が受けられます。



壬生町・宇都宮市・上三川町・上河内町・河内町・石橋町では、「住民票の写し」・「戸籍謄抄本」の相互交付を行っています。

この6市町のみなさんは、この区域内の「同一戸籍の人の戸籍謄抄本」や「同一世帯の人の住民票の写し」を、お近くの窓口で受け取ることができます。

- ◆受付日時 月～金曜日（祝日、年末年始を除く）、
午前8時30分～午後5時
- ◆問合せ先 住民課 ☎81-1825



●問合せ先
水道部水道課 ☎82-2260

●引越しの日が決まりましたら、前もって水道課へ閉栓の手続きをしてください。連絡の際は、住所・氏名・引越し日時・引越し先をお知らせ下さい。
●引越しまでの水道料金（精算分）は、前回の検針日から引越しまでの使用量をもとに計算いたします。
●連絡（閉栓の手続き）をいただきますと、水道を使用されていなくても、引き続き料金がかかってしまいますので、必ず水道課へご連絡をお願いいたします。

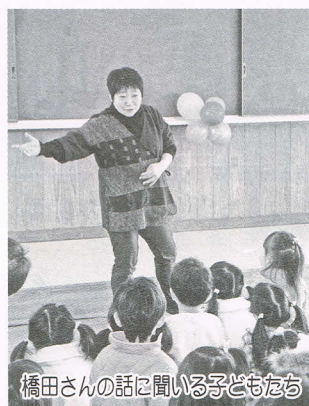
水道の
閉栓手続きを
忘れずに！

鬼ヶ島の鬼を倒せ 合い言葉は「福は内・鬼は外」

1月29日、児童館において、幼児と小学生合わせて約120名が参加して、節分会が実施されました。

節分会は、幼児の部と小学生の部に分かれて行われ、初めに下野民話の会の橋田智恵さん（若草町）によるお話を聞いた後、児童館運営委員（水井正成会長）らによるお宝まきが行われました。

小学生の部では、ボランティアで参加した町職員が扮する鬼の背中の籠にボールを入れる、『鬼ヶ島の鬼を倒せ』ゲームが行われ、たくさんのボールを入れた子どもたちが勝利し、お宝まきでお菓子やぬいぐるみなどをいただいて、子どもたちは大喜びの日でした。



橋田さんの話に聞いている子どもたち



母親クラブ会員の熱のこもった演技に思わず笑いが

児童館母親クラブ会員募集！

空いている時間に子どもたちとふれあいませんか！

母親クラブでは、今回、実施された節分会を始め、児童館行事の補助や遊具点検、人形劇等の活動をしています。

性別、年齢は一切問いません。興味をお持ちの方、ご一報ください。お待ちしております。

○年会費 300円

○連絡先 壬生町児童館 ☎82-7388

第12回

まちづくり町民フォトコンテスト

第12回まちづくり町民フォトコンテストの入賞作品12点がこのほど決まり、2月2日に表彰式が行われました。

今回は、33点の作品が寄せられ、最優秀賞にあたる「推薦」には、川原田コマさんの「八坂祭」が選ばれました。

推薦



「八坂祭」 かわはら だ 川原田 コマ



入賞者の皆さん

特選



「トマトの収穫」 大栗 正次郎



「晩秋の庭園」 石崎 みちこ 典子

入選



「五月の風」 小田垣 靖子



「菊香る」 石崎 だもん 太門



「初冬の朝」 荒川 和夫



「楽しい遠足」 和久井 昭治

入 選



「ふるさとまつり」 毛塚 光男



「町民運動会」
川原田 忠司



「歓喜院」 佐藤 源二郎

佳 作



「おめでとう」 黒川 美佐子



「初秋」 杉山 妙美

第56回成人式

新たな決意を胸に

523人が大人の仲間入り



第56回成人式が1月9日、壬生中央公民館中ホールと南犬飼中学校体育館で開催されました。

成人式運営委員の成人者が司会進行を努め、和やかな雰囲気の中、第1部の式典が行われ、南犬飼中学校体育館では、主催者を代表して清水町長が、「成人を迎えたみなさんは人生で言えば仮免許の資格を取得した段階です。充実した実りある人生にするかしないかは

成人者あいさつ

「誇り」と「責任」を自覚

節度ある行動を！



楡井 将太さん

新春の良き日、ご来賓の方々、中学時代の先生方のご臨席を賜り、このような盛大な式典が迎えられることを大変幸せに思います。また、この式典を開催するにあたりまして、ご尽力くださいました皆様方に感謝の気持ちでいっぱいです。成人者を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

さて、皆と共に育ち、共に学んだこの壬生町で式を行えることは、大変嬉しいことであると同時に、これからの自己実現に向けて今までの自分を見つめ直すことができ、何とも考えずに自由奔放に過ごした中学時代を思い出すと、反省すべき点ばかりですが、生き生きとしていた自分が失われていっているような気がします。

しかし、成人するにあたり、社会人として、「誇り」と「責任」

を自覚しながら節度ある行動をとり、我が故郷壬生町の発展と自分の目標実現のために、日々努力していきたいと思えます。

今後とも皆様方のさらなるご指導・ご鞭撻をお願い申し上げ、簡単ながらあいさつとさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

目標を掲げ

希望を持って歩んでいきたい



青柳 宏亮さん

新春の良き日に、ご来賓の方々、中学時代の先生方のご臨席を賜り、このような盛大な式典が迎えられることを大変幸せに思います。

この式典を開催するにあたりまして、ご尽力くださいました皆様方に、成人者を代表しまして厚く御礼申し上げます。

多くのことを学び、多くの友情を育んだこの場所で式を迎えることは、これからの自己実現に向けてこれまでの自分を見つめ直すことができる大変意義深いことであると思います。今、私は、埼玉の

大学に通い充実した生活を送っています。しかし、毎日をがむしやらに過ごしていたあの頃を思い出すと、懐かしい気持ちになると同時に、何か近い将来に対する漠然とした不安も感じます。

成人式とは、これまでの自分から、新しい自分への生まれ変わりの儀式のようなものではないかと私は感じます。成人を迎えるにあたって、自分なりの目標を掲げて、見失わないように、希望を持ち歩んでいきたいと思えます。

今後とも皆様方のさらなるご指導・ご鞭撻をお願い申し上げ、簡単ながらあいさつとさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



油断は禁物です！

依然として多い、自動車等のドアロック無し 鍵の付けっぱなし

〈壬生町防犯診断調査結果報告〉

自動車や自転車、オートバイの施錠状況等を調査し、防犯意識の高揚を図ることを目的とした防犯診断調査を、12月17日、壬生、稲葉、南犬飼、おもちゃのまちの4地区の防犯組合において同時開催されました。

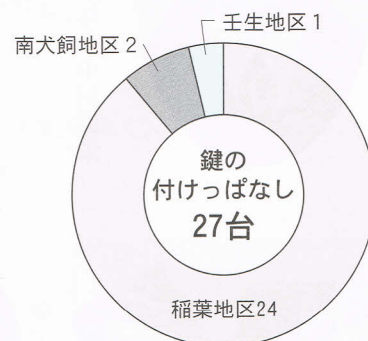
町内全体の調査結果を見ますと、ドアロックをしていない自動車が378台（9%）、鍵の付けっぱなしが160台（4%）、鍵をしていない自転車が664台（43%）、鍵のないものが91台（6%）、鍵が付けっぱなしのオートバイが27台（14%）と、鍵を掛けていなかったり、鍵の付けっぱなしなど、年々件数は減ってはきていますが、まだまだ油断されている方が多いようです。

自宅の敷地内や車庫内でも鍵は必ず掛け、防犯に努めましょう。

〈ブロック別状況〉

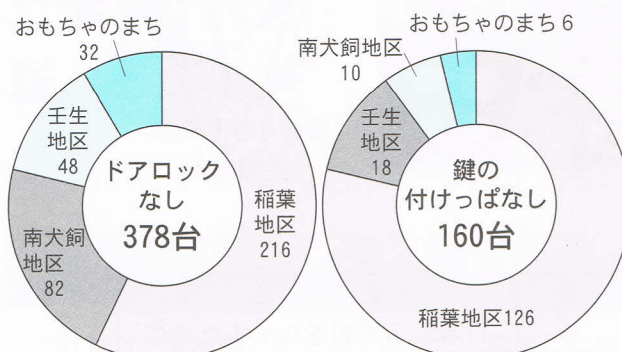
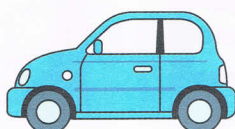
オートバイ

実施台数 197台



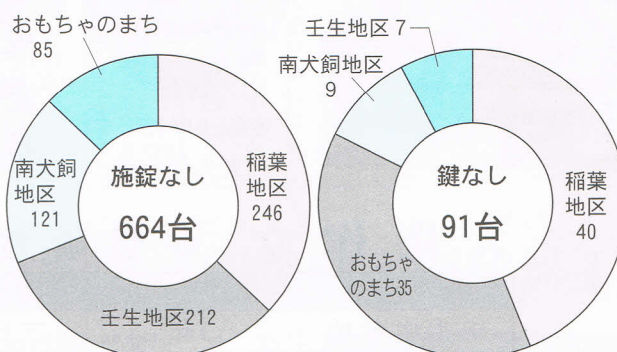
自動車

実施台数 4,289台



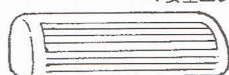
自転車

実施台数 1,559台



2月は政府の呼びかけによる 省エネルギー月間です

安全エレちゃんからの省エネアドバイス



フィルターの掃除は
2週間に1度を目安にね！

冬のお部屋の温度設定
は、20℃をこえないよ
うにね！



夜間など窓から出入りする熱は、厚手のカーテンでシャットアウト！



◆一年を通してご家庭でたくさん電気が使われている家庭製品のトップは①エアコン②冷蔵庫③照明器具④テレビです。地球環境を考慮して、省エネしましょう。

③待機電力のカット
就寝や外出するときは、常時通電が不要な電気製品は、こまめにプラグをコンセントから抜きましょう。

②スイッチはOFF
見えないテレビや不要な照明は、こまめに切りましょう。

省エネの③つのポイント

①設定温度は控えめに

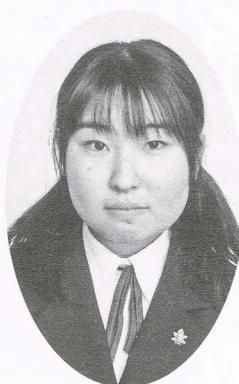
冬の室温の設定は20℃を目安に、冷蔵庫内の温度設定は弱めにしましょう。

育てよう 一人ひとりの 人権意識

● ● ● 栃木人権擁護委員協議会入選 ● ● ●



「勇気を出して」
南犬飼中学校3年 中川莉奈



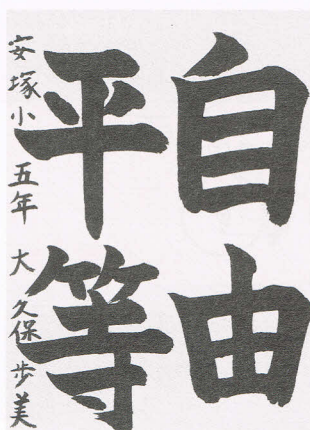
「思いやりの心を持つて」
南犬飼中学校3年 石山恵美

人権作文 優秀賞

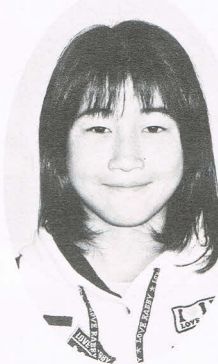
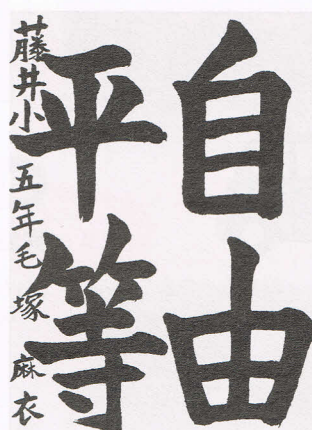
人権意識の高揚と豊かな人権感覚を身につけてもらおうと、宇都宮地方事務局・栃木人権擁護委員協議会・栃木県人権啓発活動ネットワーク協議会では、例年小・中学生へ人権に関する書道、作文をお願いしています。

ここに小学生人権書道、中学生人権作文コンテストで優秀な成績を収めた児童・生徒並びに作品の一部を紹介します。

人権書道 最優秀賞



安塚小学校5年
大久保歩美



藤井小学校5年
毛塚麻衣

人権作文 ● 奨励賞

学校名	学 年	氏 名	題 名
壬生中学校	3年	三上 冴	日本から差別をなくすために

人権書道 ● 優秀賞

学校名	学 年	氏 名	題 字
睦小学校	3年	増山 晃基	ともだち
壬生小学校	4年	板橋 由夏	思いやり
安塚小学校	4年	生田 目嵐	思いやり
壬生小学校	5年	大垣 悠	自由平等
壬生東小学校	5年	玉真 里紗	自由平等
壬生北小学校	5年	刀川 和典	自由平等
安塚小学校	5年	井上 秋穂	自由平等
壬生北小学校	6年	山野井 理恵	人権尊重

● 奨励賞

学校名	学 年	氏 名	題 字
壬生小学校	3年	大垣 めぐみ	ともだち
壬生東小学校	3年	高橋 直也	ともだち
睦小学校	3年	伊藤 望	ともだち
壬生北小学校	3年	山井 千聖	ともだち
壬生東小学校	4年	小平 彩華	思いやり
稲葉小学校	6年	高村 香織	人権尊重
羽生田小学校	6年	山口 諒子	人権尊重



春先は空気が乾燥しています。 火の元には十分**注意**しましょう！

春の火災予防運動 3月1日～7日

春は降水量が少なく、空気が乾燥しており、強風が吹くといった気象条件のため、火災が発生したときの被害が大きくなりやすい傾向があります。

平成16年中に石橋地区消防組合管内（壬生町を含む5町）で発生した火災件数は75件を数え、約半数近くの34件が壬生町内で発生しています。

管内の出火原因を見てみると、原因不明・調査中・放火を除くと、たばこやガスコンロ、たき火、工業機械（溶接機・切断機）からの出火など、日常生活の中でのちょっとした不注意によるものが大半を占めています。

火災による死傷者は10名、内6名の方が亡くなられています。火災は貴重な財産ばかりでなく、尊い生命をも奪ってしまいます。くれぐれも火の元には十分ご注意ください。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



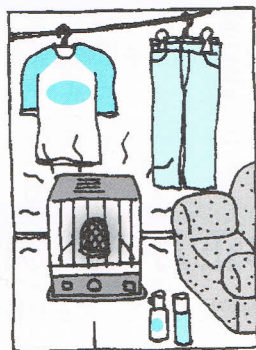
4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- 火災を小さい内に消すために、住宅用消火器を備える。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



火の用心 7つのポイント

- 1 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- 2 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- 3 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- 4 風の強いときは、たき火をしない。
- 5 子どもには、マッチやライターで遊ばせない。
- 6 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- 7 ストープには、燃えやすいものを近づけない。



ストーブの上の洗たく物
ストーブの前のスプレー缶など

可燃物の放置
(放火されやすい環境)



まちのわだい



町村合併50周年節目の年

賀詞交歓会新春を祝う

新春恒例の賀詞交歓会が、1月6日、町中央公民館において開催され、約400人が出席して新年を祝いました。

清水町長が、「三位一体の改革が進められ、地方は厳しい行財政運営を強いられているが、本町では先人たちのご努力等もあり健全財政が堅持されています。福祉の充実、地域活性化事業の推進、道路や下水道整備など、今後も『夢と活力にあふれた緑園都市』の実現に向けて進んでいきたい。また、本年は、町村合併50周年の節目の年でありますので、各種記念事業も実施していきたい。」と、抱負を交えてあいさつを述べました。

続いて、来賓の佐藤勉衆議院議員、鯉沼義則県議会議員、田中一男町議会議長が祝辞を述べ、池節子教育委員会委員長の発声で乾杯が行われた後、喜峰会（出井喜好会主・下稲葉）のみなさんによる新春謡曲が披露される中、参加者は和やかに歓談していました。



町長に目録を手渡す坂田会長（写真右側）

坂田佐一郎さん

町へ交通安全指導車を寄付

1月17日、坂田佐一郎さん（現壬生町交通安全協会会長）から町へ交通指導車の寄付がありました。

坂田さんから交通安全指導車の寄付を受けるのは2回目で、前車両が老朽化したため、新たに更新するかたちで寄付をしていただきました。

町では、寄付された交通安全指導車を、交通事故防止や防犯パトロールに活用し、安心で安全なまちづくりに役立てていきます。

永年のご苦勞に対し

退任民生委員・児童委員に感謝状贈呈

昨年11月30日をもって任期満了により退任されました民生委員・児童委員11名の方に、1月20日、役場会議室において、永年にわたるご苦勞に対し厚生労働大臣感謝状並びに栃木県知事感謝状の伝達式が行われました。

永い間大変お世話になりましたことを感謝申し上げます。

退任民生委員・児童委員（敬称略）／住川卓三・戸崎豊治・青木金十郎・佐藤信子・石井末代・岩田幸子・渡邊親守・宇賀神二三子・神長徳茂・高橋ミサ・川野邊泰子・神長孝子・安生佳子



賑わいをみせたお楽しみ抽選会

おもちゃ博物館

お正月特別開館でお正月を満喫

1月3日、4日の2日間、おもちゃ博物館において、お正月特別開館が行われました。

当日は、お楽しみ抽選会、手作り羽子板教室、琴・尺八演奏会、抹茶野点が行われ、訪れた方々はお正月ならではのイベントを楽しんでいました。

頑張る農業者を応援！

認定農業者に新たに5名認定

意欲的に農業に取り組む農業者が、経営規模の拡大や、生産方式、経営管理の合理化、休日制や給料制の導入など、経営目標を作成した「農業改善計画」を認定する、認定農業者制度に基づく認定農業者に新たに5名が認定を受け、1月14日、役場会議室において、認定書の授与式が行なわれました。

認定を受けると、農地取得や機械・施設などの取得資金が低利で融資を受けられたり、税制の特例、経営相談や各種研修などが受けられます。

今回認定を受けた方々（敬称略）（ ）内は目標とする営農類型

伊藤 博（水稻、苺）／賀長茂一（米麦、苺）／高橋喜一（米麦、苺）／梁島重正（水稻、苺）／梁島良市（苺）



伊藤 博 賀長茂一 梁島良市 梁島重正
落合会長 清水町長 高橋喜一



芸能発表演芸大会を開催

南犬飼地区老人クラブ連合会

南犬飼地区公民館が主催する開花学級の学級生と南犬飼地区老人クラブ連合会主催による芸能発表演芸大会が、1月14日、南犬飼地区公民館で開催されました。

同学級の閉校式に引き続いて開催された演芸大会には、地区内の会員約200名が参加し、歌自慢、踊り自慢が披露する歌謡曲や民舞などを楽しみました。

事務局長の渡辺剛さんは、「演芸大会は、1年間元気だったね。今年も頑張ろう。顔を合わせることで、みんなの安否を気遣う場でもあるんですよ。」と話してくれました。

壬生町学校 美術・造形展

学習の成果を発表

第9回壬生町学校美術・造形展が、1月15・16の2日間、町中央公民館で開催されました。同美術・造形展は、学習の成果の発表の場として、壬生町教育会図画工作・美術部会の先生方が中心となり、両中学校の美術科・美術部の生徒と共に、町内小・中学校の参加協力のもと、毎年開催されています。



作品に見入る中学生

地域交流を深めたもちつき大会

緑町一丁目自治会



1月23日、緑町一丁目自治会（長谷川七郎会長）において、もちつき大会が行われました。

もちつき大会は、2代目が家を継ぎ、孫たちも増えてきている中、幼い子どもから高齢者までがふれあいを深め、自治会全体で次代を担う子どもたちを育てようと実施されました。

幼児からお年寄りまでが大勢参加し、冬の寒さを吹き飛ばす温まる一日となりました。

しいたけ生産作業を体験

安塚小学校

しいたけの生産作業を通して、平地林の保全に関する理解と、生産の喜びを体験してもらおうと、1月26日、安塚小学校4年生62名が、原木への種駒打ち作業をしました。

作業の前に、栃木県佐野林務事務所職員並びにしいたけ栽培農家の山井一男（北小林）さんから、しいたけ菌や栽培についての説明を受けた後、山井さんの補助を受け、約50の穴を開けた長さ1メートルほどの原木に、2人一組となって種駒打ちをしました。種駒が植えられたほだ木は、校庭の木陰で管理され、来春には初収穫できるとのことです。



第17回女と男との集い

「健全な男女共同参画社会とは」



1月29日、壬生中央公民館中ホールにおいて、壬生町教育委員会・壬生町女性団体連絡協議会主催の第17回女と男との集いが、約300名の参加の下、開催されました。

集いは、女性団体連絡協議会のみなさんが、「お父さんは料理上手」と題した寸劇で「ジェンダーってなあに」を問題提起し、引き続いて「健全な男女共同参画社会とは」ージェンダーフリー思想の問題点と家庭崩壊時代の危機ーと題して、日本青少年育成学会アドバイザーの青津和代先生が講演され、「差別と区別は違います。差別はいけませんが区別はあってもよいのではないかと。お互いの違いを違いとして認め合って助け合うことが男女共同参画社会への到達目標である」等と話され、会場のみなさんは、熱のこもった講師の話を熱心に聞き入っていました。

藤井農産物直売所ふくべの里

直売所コンテスト総合表彰で銅賞を受賞

農産物の直売所「藤井農産物直売所ふくべの里」が、ふるさと栃木フェアにおける「直売所コンテスト」総合表彰において銅賞を受賞し、1月20日、パルティ（とちぎ男女共同参画センター）において表彰されました。

「ふるさと栃木フェア」（ふるさと栃木フェア実行委員会主催）は、栃木県内各地域の創意と工夫により開発生産された農林水産物・特産品を一堂に集め、展示・販売を実施するほか、農業・農村とのふれあいを提供する総合的なイベントで、平成6年度からは「直売所コンテスト」が実施されています。

今年度、同コンテスト開催10周年を記念して設けられた総合表彰では、過去に入賞した農産物直売所を対象に選定され、「藤井農産物直売所ふくべの里」は、豊富な品揃えと親切な商品説明、活気のある店づくりが評価され、今回の受賞となりました。



広報壬生1月号7頁、「壬生町健康ロードレース大会」の優勝者集合写真中、優勝されたみなさんのお名前、「刀川さん」と「大久保さん」の順番が逆になっていました。お詫びして訂正いたします。

お詫びと訂正

みんなの広場



今回は4月生まれのアイドルを募集します。
(締切3月25日)。写真はお返しします。

応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。

写真裏に住所、氏名、保護者名、生年月日、電話番号を書いて、役場企画財政課（直接或は郵便で〒321-0292壬生町通町12-22）または、稲葉・南犬飼各出張所、生涯学習館へ。



しらく たいせい
白久泰聖ちゃん（駅東）
（H16.2.16生）

藤井小学校 卒業記念制作

6年間の思いを文字に



1月20日、藤井小学校（落合範子校長）6年生16名が、思い出に残る文字を全紙に書く卒業記念制作を実施しました。

子どもたちは、特別非常勤講師の飯塚まゆみさんから、「上手に書くかと思わないで、のびのび書けばいいよ。」のアドバイスを受け、「友情」・「協力」・「純心」等、自分の好きな言葉や文字を元気に書き上げました。

「一畳ぐらいある用紙に書くのは緊張したが、すごくいい思い出になりました。習字が好きになりました。」「卒業式に飾って家族に見てもらうのが楽しみです。」などの感想が寄せられ、すばらしい卒業記念の思い出ができたようです。

「咸臨丸を読み解け～16歳の壬生侍が見た世界～」

NHK宇都宮放送局と壬生町では、壬生町合併50周年記念として、NHK歴史探訪セミナー「咸臨丸を読み解け～16歳の壬生侍が見た世界～」を行います。

このイベントでは、今から約140年前の江戸末期の激動の時代、わずか16歳の若さで幕府軍艦「咸臨丸」に乗り、勝海舟、福沢諭吉、ジョン万次郎らとともに太平洋を渡った齋藤留蔵(さいとうとめそう)という栃木県壬生町出身の青年を取上げます。彼の残した咸臨丸での航海日記「亜行新書」を元にした朗読劇と、「歴史探訪トーク」を通して、「齋藤留蔵」や当時の歴史について分かりやすく紹介します。

観覧ご希望の方は、以下の要領でお申し込みください。

- 日 時 3月27日(日) 開場 15:00 開演 15:30 終演予定 17:30
- 会 場 壬生中央公民館 大ホール
- 主 催 壬生町・NHK宇都宮放送局
- 出演・内容 総合ナビゲーター 林家きく姫(落語家)

(NHK「週刊こどもニュース」おかあさん役)

第1部 朗読劇「咸臨丸を読み解け～16歳の壬生侍が見た世界～」

脚本／桑名英文

演出／水下きよし(花組芝居)

出演／原川浩明 水下きよし 松原綾央(花組芝居)

第2部 歴史探訪トーク「齋藤留蔵を生んだ町、壬生町」

出演／林家きく姫(落語家)

中野正人(壬生町歴史民俗資料館) ほか

進行／水谷彰宏(NHK宇都宮放送局アナウンサー)

- 応募方法 入場は無料ですが、入場整理券が必要です。ご希望の方は、電話またはFAXで、「住所」「名前」「電話番号」「参加を希望する人数」をお知らせください。
※定員となり次第、締切とさせていただきます。(1,000名)

- 申込問合せ先 NHK宇都宮放送局 ☎028-634-9166 (平日9:30～18:00) 電028-638-3819
URL <http://www.nhk.or.jp/utsunomiya/>



▲林家 きく姫

鈴木勇次郎画

寄付

◆社会福祉協議会へ

(○数字は寄付回数)

糸川フミ様② 5千円

匿名⑪ 1万円

◆町へ

1月13日、壬生寺保育園(渡辺光喜園長)様から、過日開催された「壬生寺保育園創立30周年記念及び第8回壬生円仁和太鼓フェスティバル」の益金の一部10万円が、社会福祉のために寄付されました。



陸小 6年

小林 麻紀



陸小 6年

谷村 鼓太郎

六年
希望
小林麻紀



版画「最後の瞬間」

まちのうごき

2月1日現在

総人口	40,070 人 (0)
男	19,632 人 (2)
女	20,438 人 (Δ 2)
世帯数	13,492 世帯 (9)
	() 内は前月比